

「春」

学校長 笠原 究

ここ旭川にも春が訪れています。今年度は雪解けが早かったので、暖かな 4 月を期待していましたが、後半は寒い日々が続きました。南から徐々に撤退してきた冬将軍は、毎年この道北で長居をしてから北へと帰るようです。しかしこの原稿が公開されている頃には、桜の時期も終わり、冬将軍の姿も見えなくなっていることでしょう。

広辞苑によれば「春」という言葉の由来は、草木の芽が「張る」、または田畑を「墾(は)る」、もしくは気候が「晴る」から来ているとあります。英語



で春は spring ですね。spring の語源は英語の母体であるアングロサクソンのことば springan から来ています。その意味は「(上に向かって)跳ねる、はじける」です。もともとは泉などが上に向かって吹き上がる様子を表していました。ですから今でも spring には「泉」という意味があります。また「温泉」は hot spring ですね。ばねのことも英語では spring といいますね。これも、縮んでからポン

と跳ねるといった共通のイメージをもっています。動詞で使えば、「跳ぶ、はねる、ポンと出てくる」といった意味で使うことができます。いくつか例を見てみましょう (Chat GPT に例文を作ってもらいました)。

1. The flowers sprang up from the ground after a heavy rain.
「大雨の後、大地からは花が一斉に咲き始めた。」何もなかった地面から、花々が一斉に芽吹き、よきよき出てくる感じです。
2. I always spring out of bed early on the weekends.
「週末、私はいつも朝早くにベッドから跳ね起きる。」一瞬で目覚めて、すぐに布団をはねのけて立ち上がるイメージですね。
3. The squirrel sprang from branch to branch in the tree.
「そのリスは木の枝から枝を跳び回った。」附小の森でも時々目にします。
4. She sprang the news of her engagement on her family during dinner.
「彼女は夕食の席で婚約したことを家族に突然告げた。」彼女の口からポンと驚きのことばが出てきた、という感じです。
5. The athlete sprang off the starting line and ran towards the finish.
「その選手はスタートラインを飛び出ると、ゴールめがけて走った。」静から動へ、ポンと飛び出した感じですね。

このように英語の春, spring ということばは, 冬明けの何も無い大地から生命が一斉に飛び出てくる, というイメージをもっています。まさに春の附小っ子たちのイメージです。PTA 奉仕活動できれいにしてもらった遊び場(御協力大変ありがとうございました)を, 今日子供たちは駆け回っています。まさに生命力あふれるその姿に, 私も日々元気をもらっています。私たち職員一同は, こうした子供たちの芽吹きを大切に育てていきたいと考えています。新たに顔を出した芽には, たっぷり水と栄養を与えなければいけません。また, 雨風に耐えうるたくましさも身につけさせなければなりません。その両方を, 保護者の皆様の御協力を得ながら実現していきたいと考えています。今年一年間も, またどうぞよろしくお願いいたします。

